

2021年10月20日

株式会社マクネット

コロナ禍で苦境が続く自販機市場

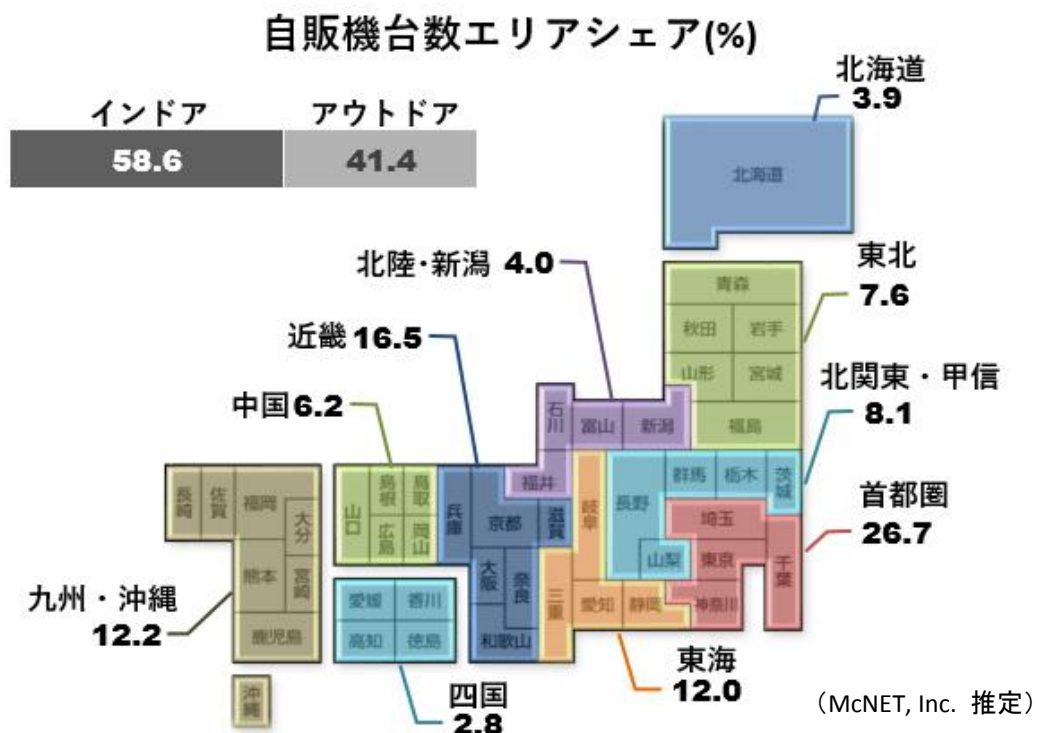
国内飲料自販機市場は 223 万台。59%がインドアに設置。
インドア自販機は 39.5 万事業所に 130.9 万台(前年比▲3.7%)が展開
台数シェアはコカ・コーラ/FV グループが 29.9%、サントリー/JB グループが 21.1%

株式会社マクネット(本社:東京都千代田区、代表取締役中村与志也)は、前年に引き続きコロナ禍で苦戦する飲料自販機市場をまとめました。

調査はインドア事業所のオーナーや担当者に対する 9,000 を超えるアンケートに加え、全国のアウトドア自販機 1.8 万台を調査した結果を分析・検証したものです。調査・分析期間は 21 年 6 月～7 月。

新型コロナウイルスの影響で前年に引き続き低迷が続く飲料自販機市場について、本年はインドア自販機に加えアウトドア自販機も調査対象とし、それぞれの市場動向について分析しました。

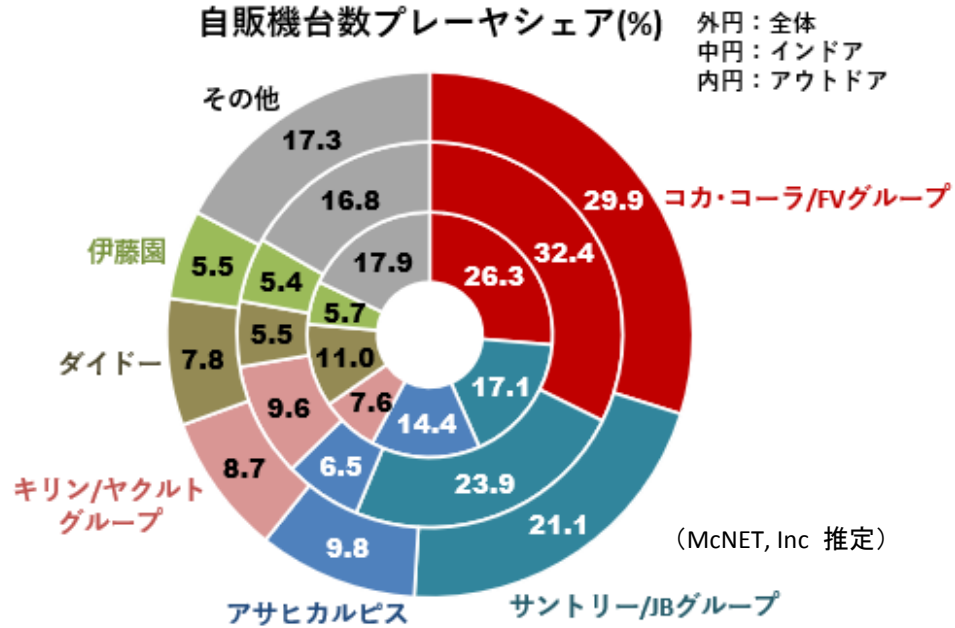
国内飲料自販機市場(2021年6月-7月調査)



2021年の飲料自販機市場は 223.3 万台で、インドアとアウトドアの比率は 59:41 であった。設置台数が多いのは東京、神奈川、千葉、埼玉の「首都圏」で 26.7%であった。

一方のインドア自販機もコロナ禍でリモートワークが推奨される中、オフィスやオフィスビルに設置された自販機のセールスが減少し、撤去に至るケースも見られている。ただし工場では自販機が微増しており、同じインドアでも傾向が異なっている。

自販機台数シェア



自販機の設置台数でトップシェアを獲得しているのはコカ・コーラ/エフヴィグループで、インドア/アウトドア合計の全体シェアは29.9%、2位は21.1%でサントリー/ジャパンビバレッジグループ。

上位2グループはインドアのシェアが高く、特にマーケットの大きい大規模事業所への注力が見られている。アサヒカルピスやダイドーはアウトドアのウエイトが高い。

調査方法と有効票数概要

調査主体：株式会社マクネット

【インドア調査】

アンケート対象：インドアロケ担当者

調査方法：Web法、郵送法の併用

有効票数：9.2千(VM3.5万台)

調査・分析期間：2021年6月～7月

【アウトドア調査】

調査対象：アウトドア設置自販機

調査方法：目視調査

調査台数：1.8万台

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクネット

〒101-0023 東京都千代田区神田松永町10番地

X-Tech Business Unit 遠藤、牛込、志賀

電話：03-5294-4410 メール：info@i-mct.jp

引用・転載時のお願い

報道関係者様：本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットの明記をお願い申し上げます。

報道関係以外の方：本リリースの引用・転載時には、必ず弊社承諾を得ることをお願い申し上げます。